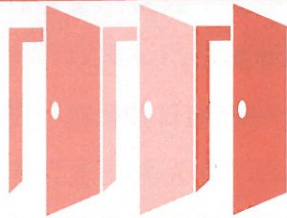
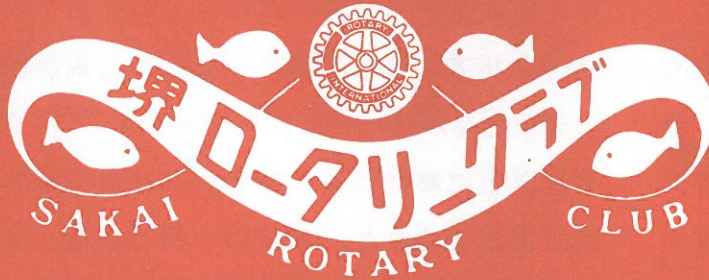


第2640地区

創 立	昭和26年(1951)2月16日
例 日	毎週木曜日12:30
例 場	ホテル・アゴラリージェンシー大阪堺3F TEL (072) 224-1121
事 務 所	〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1 ホテル・アゴラリージェンシー大阪堺8F TEL (072) 238-3250 FAX (072) 232-3711
会 長	東野 裕 暢
幹 事	奥 中 泰 征
会 報 担 当	<del>提 淳</del> 竹 島 尚 弘



Rotary Opens Opportunities

## ロータリーは 機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク

四  
つ  
の  
テ  
ス  
ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<https://www.sakai-rc.jp/>

<http://rid2640g.com/fujii/>

特別号(15)

<会長の時間に替えて—最終稿>

<例会休会継続について>

有難う天正さん!

東野裕暢

大阪府は、先週8日連続で200人を下回り着実に感染者数の減少が見られ、6/20には緊急事態宣言を解除し、まん延防止等措置に移行も検討との知事発言が出ています。

そこで、次週6/24(最終例会)は、緊急事態宣言解除を大前提に例会を再開し、ハイブリッド例会(Zoom中継併用)で準備中です。

宣言解除確定を待つて6/21に正式にリアル例会の可否をご通知申し上げます。

現時点では未だ緊急事態宣言下、今週もやむなく休会(Onlineインフォーマルミーティングは開催)が続きます。「会員の安全と医療への負荷回避に資する運営を最優先」し会員各位のご理解を重ねて切にお願い申し上げます。

次号は、恒例の理事役員退任挨拶ですので、本稿で会長の時間及びそれに替えた特別号拙稿が最終回となります。RC話、会員インタビュー、時事ネタ、よもやま話と工夫はしてみたもののいずれも拙劣、汗顔の至りです。そして最終稿、以前より迷わずこの表題に決めていました。全会員、全元会員、残念ながら鬼籍に入った会員の全ての方々が間違いなく共有している思いだからです。この皆さんの思いを代弁し、不肖東野が堺ロータリーと本年度末で退職される天正さんを振り返りつつ、42年に及ぶ彼女の貢献に感謝を捧げたいと思います。以下、余りに書きたい事が多く字数節約の為、いつもの敬体ではなく常体(である調)で進める事をお許し願います。

天正さん入局は、1979年5月。中会長、福井副会長(現福井会員のご尊父)、佐野川谷幹事

の年度で、当時既にご在籍であった現会員は、大澤会員と尾関会員のみ。まだ当地区が大阪北部と一緒に第266地区の時代である。今日に至るまで飯沼、播野、大澤、福井の各ガバナーを輩出するクラブの事務局として支えて下さった。非力微力ながらわたくしも福井年度に地区運営の裏方末席を汚したのでよく判るが、地区運営を支えると言うのは並大抵の事でない。それを4人も！当地区では間違いなく1番汗をかかれた事務局員さんだと断言できる。勿論クラブ自体においても、地区大阪側最古クラブにして最大（昭和50年代後半～平成初期は128がピークでほぼ120名台）であり、それ即ち会員の個性も立場も千差万別。しかも世間の雇用形態とは全く異なり、その方々全員が雇用者となる。対面で、電話の向こうで、Faxで、メールで色々な個性の方から、どれほどの難題や手間暇かかる案件が彼女のもとに押し寄せたであろう。しかしいつ何時も「笑かさんといて下さいよ」とにこやかに受け止め、山の様な仕事を片付けて下さった。

1995年3月5日福原元会員、宍戸元会員、わたくしと天正さんは、日曜朝JR住吉駅に着く。8回の中の第4回阪神淡路大震災救援活動で、発災から1ヶ月半の頃だった。東灘保健所を経て各避難所をもちろん徒歩で今後の支援材料にと、医薬品需要や今何が足りていないかを聞きに回り、応急の診察も対応した（福原元会員はお医者様）。しかし道の左右は景色が全く異なり、左はクラック程度の健在建物、右は瓦礫、火災跡と目を疑うギャップ。見かける人々は、悲しみに暮れ、疲れ果てている。

良くない光景も視界に入る。そんな中を我々ロータリアンなら当然だとしても、事務局員の天正さんがロータリアンと同じように、否、それ以上に奉仕に共に汗を流し、共に泣き、共に喜んでくれた。ほんの一例である。会員諸氏は、あまた天正さんの同様の光景を見てこられたであろう。そう！彼女はまぎれもないロータリアンなのである。

今もそうであるが、例会4日前には、その日の進行表が各担当への“あんちょこ”入りで届く。各会員の個性から書きにくい事は、電話又は当日の耳打ちで入れてくれる。理事会議案も言うに及ばず。大変お恥ずかしい話であるが、これが当たり前であると迂闊にも思っていた。勿論さようなはずはない。福井ガバナー事務所時代に裏方として関わった時、初めて他のRCの事務局さんと同じ仕事をする事となり、その時初めて他クラブに比べ我がクラブの事務局さんが、会員に対して如何に至れり尽くせりかを思い知らされた。その最も原動力が天正さんであった。在籍約30年、種々お役を受け、その中で最も非才且つ不器用で手間暇おかけした東野が言うのだから間違いない。

42年と言う長きには、天正さんご自身にもご不調やお辛い時もあったはず。だからと言ってたった一度も堺クラブの運営に、わずかでも滞りがあつたと聞いた事がない。そう彼女は、ただただ堺クラブとメンバーを思い「これなら、こうした方が、こっちの方が、会員に、クラブに資する」その一筋で勤め上げて下さった。しかも黙ってにこやかに。

事実、クラブの思い出や感慨を今回尋ねた際の答えは以下の通り。「お忙しい中をわたくしの事でいろいろお心遣い頂き有難うございます。長い間お世話になって思い出も多々ございますがそれは、私の胸の中にしまっておきたいと思います。退職時は、そっと辞めさせて頂くことが希望です。もし、例会が開催されておられましたら、お世話になったお礼を一言だけお伝えさせて頂きましたらと思っています」

有難う天正さん！貴女がいたから幾つもの奉仕が実りました。

有難う天正さん！貴女がいたから誇れるクラブであり続けました。

有難う天正さん！貴女がいたから個性豊かな会員皆が団結してきました。

有難う天正さん！これからもあなたが愛した堺クラブであり続けます。

現、元、全ての会員を代表して感謝します。

## 今月の皆出席

福井 隆一郎会員 25年(平成8年入会)  
神山 紀夫会員 14年(平成19年入会)  
中村 佐久治会員 11年(平成22年入会)

## 6月のロータリーレート

1ドル=109円

今年度、会員皆様に一年間ご寄付いただき有難うございました。

R財団委員会より

## 委員会報告

### 姉妹クラブ 台中東南扶倫社より

台中東南扶倫社

会長 頼 復 進

幹事 陳 文 熙

委員長 楊 金 振

拝啓 敬愛する姉妹クラブの堺ロータリークラブ 東野会長並びに理事、会員、家族の皆様、こんにちは。梅雨の時期、堺ロータリークラブの会員全ての皆様、ご家族の方々にご挨拶し、貴クラブの繁栄に祝福をします。

台湾の新型コロナウイルス(COVID-19)の流行が急変し、流行が蔓延し状況が厳しくなり、ワクチン不足する中、日本政府は、6月4日に124万回分のワクチンを緊急に専用機で台湾に届けてくれました。日本政府と国民に感謝の意を表明しました。この友情は、メディア、多くの報道を通じて台湾のすべての国民が感謝を感じました。新型コロナウイルスの流行が早期に終わり、貴クラブと当クラブが相互訪問と交流を続けて、両国の深い友情を共に深めていきたいと思ひます。 敬 具

## 他クラブ例会変更のお知らせ

堺清陵RC

6月24日(木)の例会は 休 会  
(定款第7条第1節(d)(3)により)

堺泉ヶ丘RC

6月29日(火)の例会は 休 会  
(定款第7条第1節(d)(3)により)



## ハイライト よねやま

### 理事会開催報告ー2022学年度は880人採用



6月3日、全国の理事30人、監事3人が出席し、第29回理事会がオンライン会議（zoom）で開催されました。昨年はコロナ禍の中、例年6月・8月に開催している理事会はどちらも書面決議となりましたが、それから1年が経過し、オンライン上とは言え、全国の理事・監事が一堂に会して協議する、理事会本来の姿を取り戻すことができました。

今回の理事会では、議長の齋藤直美理事長の進行の下、主な議案として、2022 学年度奨学生採用数の件、2022学年度募集要項の件、2021年度事業計画、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2022学年度の奨学生採用数は、前年度比10人（枠）減の880人（枠）とすることなどが決定しました。

### 奨学生の安全を願って自転車をプレゼント

第2540地区（秋田県）本荘RCが、6月4日の例会で奨学生の葛睿剛 カツエイゴウさんへ自転車をプレゼントしました。

きっかけは、ある会員が偶然、町で自転車に乗る葛さんを見かけたこと。前カゴが壊れ、ハンドルにビニール袋をぶら下げてフラフラ

と走行する様子に、「あれでは心配だから皆で新しい自転車をプレゼントをしよう」と、会員に呼びかけました。葛さんを驚かせたいと、購入した自転車を前日のうちに例会場へ運び入れ、皆が見守るなかサプライズでの贈呈。葛さんはこの時を振り返り、次のように語っています。「大学まで徒歩30分以上掛かる私にとって、自転車は必需品です。これまで先輩から譲り受けた自転車で大学や例会に通っていましたが、少々不自由なところもありました。新しい自転車は、素敵な色で変速もできて乗り心地が良く、何より皆さんの気持ちに感動しました！米山奨学生であること、そして秋田に留学できたことが本当に光栄です。これからもロータリーの精神を学び、自分も人を助ける人間になりたいと思っています」。

（6月14日）



### フォト同好会

ー 風露草（フウロソウ）ー



山野草の仲間

熊野道夫会員